

研修部

授業や行事を通して、子どもがつながる、学びがつながる、未来へつながる

子どもがつながるために

合言葉① 安心・いきいき

- 安心して生活できる教室空間の構築・・・
- ・授業規律 9 項目を全教員で考え、教室に掲示します。
- ・学びの作法を教室に掲示し、徹底します。

東員第一中学校 授業規律 9 項目

①チャイムがなる3分前に授業の準備をして進路する。	②授業の始めと終わりのあいさつを姿勢を正して、きちんと行う。	③正しい姿勢で座る。(足を組んだりせず、背筋を伸ばして座る)
④はっきりと返事をし、みんなに聞こえる声で話す。	⑤話す人を見ながら最後まで話を聞く。	⑥無駄話や手遊びなど、授業に関係のないことをしない。
⑦授業に必要なものは机の上に置かない。	⑧授業中に勝手に自分の席から離れない。	⑨自分の行動は周りをハッピーにしているか常に考える。

東員第一中学校 学びの作法

①わからないときは「自分から」友達に聞く。(待たない)
「わからないから教えて!」「それ、どうやるの?」「これどういう意味?」「まだわからないから、もう1回教えて!」
②きかれたら相手が納得するまで説明しよう。
相手の考えに寄り添って、相手が納得できるように説明する。 「～さんは、どこでつまづいているのかな?」と考える。 「ここまで分かった?」と聞いてみる。 絵や図をかきながら(示しながら)説明する。)
③自分の考えと比べながら、優しい気持ちで相手の考えを聴こう。 (自分の考えとどこが違うのかな?どこでそう思ったのかな?～さんが言いたいことは、つまり～ということなんだな。)

- 関わり合う力・学び合う力の育成・・・
- ・意図ある小集団を活用した協働的な学びを行う。
- ・「わからない」と言える授業作りを進める。
- ・関わる価値、必然性のある教材・課題を生み出す。
- ・話す量は「生徒：教師＝8：2」を目指す。

学習がつながるために

合言葉② しっかり聞いてしっかり話す

- 話を聞く力の育成・・・
- ・話している人を大切にし、意識や心を向けながら話を聴くことを徹底する。＝インプット
- 伝え合う力の育成・・・
- ・仲間や自分自身と対話する時間を授業内に設定し、自分の考えや思いを表現する(話したり、書いたり)する場面を設定する。＝アウトプット
- 「めあて」と「振り返り」・・・
- ・見通しをもって授業を受けたり、学びを振り返ることを通して、意図や要点を汲みながら授業に取り組めるようにサポートする。
- 読み解く力の育成・・・
- ・リーディングスキルの活用を意識した課題や発問、支援を設定する。

未来へつながるために

合言葉③ 自分もまわりもメタ認知

- キャリア教育の充実・・・
- ・自分自身で目標を設定し、取り組んだことに対して過程や自分の成長を振り返る活動を行う。
- ・自分と向き合う場面を設定し、夢や未来に対して、深く考える時間を設ける。
- 人権・道徳教育の充実・・・
- ・他者の得意なことや苦手なことに目を向け、正しく理解することの大切さを学ぶ機会を設定する
- ・多様な価値感に触れ、それ理解し、認めることの大切さを学ぶ機会を設定する。
- 他者と関わる場面の設定・・・
- ・他者と対話したり、他者からのフィードバックを受けとったり、他者から良さを認めてもらったりするなかで、自分の良さに気付ける場面を設定する

① 外部講師による授業研修及び模擬授業

- ・岐阜聖徳学園大学、玉置教授に年間3回、来ていただいて、授業研修・模擬授業を行います。
- テーマ
- つながる授業を創造するために
- ⇒生徒と生徒つなげる「課題」・「教材」・「発問」づくり
- ⇒授業における教師のつなぐ技術の向上

② 前期・後期授業づくり研修

- ・前期と後期の2回、相互授業参観を行う。
- ・テーマを設定し、テーマに沿った参観シートを用いることで、意図のある相互参観を行う。
- ・授業を参観し、同僚の授業から学ぶ。
- ・互いに参観し、刺激し合い、学び合うことで、生徒だけでなく、教師もつながります。

③ 各部が主体的に行う研修

- ・長期休暇や行事前など、適切な時期に各部が主体的に行う研修を行います。
- ⇒生活部：行事前の学級経営研修等
- ⇒生指部：生徒指導に関わる実践研修等
- ⇒学習部：テストのデータ等を用いた授業改善研修等
- ⇒人権・道徳部：人権感覚研修、道徳研修等

令和8年度 研修主題
東員町立東員第一中学校

自主・自立・自律～自らの未来を語れる生徒を育てる～
つながる

3つの合言葉と手立て
をもとに進める実践

4部連携図・・・校内研修において、4部が連携して研修を進めます

生活部	研修部	学習部
自らの思いを語り、 つながりあえる生徒の育成	授業や行事を通して 生徒がつながる 学びがつながる 未来へつながる	自分の未来につながる 確かな学力と主体性のある生徒の育成
●生徒主体の安心できる環境づくり ・生徒主体の授業・生活改善 ・生徒会会則の理念の継承 ●一人ひとりが活躍できる仕組みづくり ・誰もがリーダー・フォロワー ・質の高いリーダーの語り、目指すリーダー像の共有 ・各クラスの帰りの会・朝の会の取り組み ・学級経営の学び合い研修 ●生徒主体の熱い学校行事 ・執行部主体の生徒会行事 ・各リーダーの働きかけ ・リーダー育成の学び合い	●子どもがつなるために ・安心できる教室環境の構築、学びの作法の徹底 ・関わり合い、学び合いを生む授業づくり ●学習がつながるために ・聴く力・伝え合う力の育成、インプット・アウトプット ・「めあて」と「振り返り」の徹底 ●未来へつながるために ・キャリア教育の充実、道徳・人権教育の充実 これらを実現するために・・・・・・・・・・・・・・・・ ▶外部講師（玉置教授）を招聘しての授業研修 ▶前期、後期の年2回の授業づくり研修 ▶各部が主体的に行う校内研修を実施	●生徒の学力につなげるために ・テスト分析や学力分析による授業改善・生徒支援 ・PDCAサイクルによる学習習慣確立と学習改善 ・帯学習で基礎学力と読書習慣の定着 ・D層生徒の把握と支援方法の共有 ●自分の未来につながるキャリア教育 ・講演や体験から様々な価値観に触れ、自分自身を振り返る ・職業調べから自分の将来への目標設定へ ・進路学習を通して日常の努力から自己実現へ ●集団として仲間と高め合う関係づくり ・修学旅行・校外学習・学年レク・SST・SDGs
生指部	道徳・人権部	
つながるからこそ生まれる安心できる空間の構築	豊かな人間性を育み、 つながることができる生徒の育成	
●生徒同士、生徒と教師をつなげる環境整備 ・些細な変化に気付くと共に、安心して学校生活を送ることができる環境づくり ・生活委員会を軸とし、生徒同士がつながる取り組みの創造 ●情報共有の徹底 ・学年間でもつながり、生徒の状況を共有し同じ目線で指導に当たる ・生徒の登下校の状況なども共有し、安全に生徒が登下校ができる体制をつくる ・メタ認知…自分たちの状況を理解し、行動を変容することができる生徒の育成	●人権教育の推進 ・人権フォーラム・東員子どもの権利条例HR、仲間づくりHR等⇒実践力向上 ・命の講演会・情報講演会・人権作文・標語等⇒人権について考える機会をつくる ●考え、議論する道徳の探究 ・年間35時間、内容22項目の道徳授業を実施 ・メタ認知の実現に向けて（仲間と関わる時間【話す・聴く】を生み出す） ・授業力向上に向けた取り組み⇒指導案の検討	